

作品のシーン、メモ

(一)

吾輩の来歴

主人の紹介

主人の絵画

黒との出会い

黒のいたち事件とねずみ取り

主人の日記

友人のアンドレア・デル・サルト論

(三)

3枚の葉書

寒月君が来る

主人の日記

吾輩餅を食う

三毛子を訪問

黒とシャケ

東風のトチメンボウーの話

東風の朗読会への誘い

迷亭の手紙

三毛子の病気

迷亭の文章批判

寒月来て東風の話

迷亭の不思議な話「首くくりの木」

寒月の話 橋の上の話

主人の病気の話と義太夫鑑賞

三毛子の死 二弦琴の師匠宅

(三)

三毛子と黒

天然居士

迷亭と細君の対話

寒月君の演説と 首くくり

東風の失恋物語

鼻子来る

寒月の人となり

寒月の手紙

迷亭の叔父

金田邸の訪問

迷亭と寒月がいる

迷亭の「鼻論」

(四)

金田邸へ忍び込む

細君のハゲ

鈴木藤十郎来訪

寒月の博士論文

体育と実業の話

(五)

夜の寢室

雨戸と泥棒

足音

泥棒陰士と顔

翌日、巡査が来る

多々良三平来訪

主人が出てくる

主人と多々良三平外出

ねずみ取り

(六)

暑い暑い

迷亭来る

主人起きてくる

迷亭そばを食う

寒月来る

迷亭の蛇飯の話

老梅君のお夏さんの話

人売りの話

アグノダイスの話

東風来る

寒月の脚本の話

東風の詩集

大和魂

(七)

海水浴

蟪蛄狩り

蟬取り
松滑り
垣巡り
帰宅
銭湯に行く
衣服の歴史
一大奇観
苦沙弥先生の喧嘩
主人の晩餐
（八）
竹垣
落雲館
教育論
からかう論
四つ目垣
逆上論
ダムダム弾
ハゲ頭
ぬっすとう
落雲館授業中
蜂の陣立て
ダムダム弾の発射
主人の説教
金田と鈴木の立ち話
球拾い
甘木先生来る
珍客・哲学者
〈九〉
あばた面
鏡
ひげ
手紙、第一信
第二信
第三信
迷亭と叔父
鉄扇

八木独仙
立町老梅君のこと
刑事巡査
気狂いについて主人の考察
吾輩の読書術
(十)

朝
台所
女の子三人の洗顔
主人起きる
戸棚のはらわた
茶の間
子どものこと
雪江さん来る
主人と雪江
古井武衛門
艶書のこと
おもしろい
寒月来る
武衛門君帰る

(十一)
迷亭と独仙の碁
寒月くんのヴァイオリン
寒月の経験譚
ヴァイオリンてんかん
夜十時
五円二十戦
姥子の温泉で煙草
ヴァイオリンを弾く
寒月と結婚
探偵
自覚心
死
習慣の話
結婚の未来記
芸術

女について
多々良三平来る
猫と生まれて